



塩浜小 学校だより

第 18 号
令和 2年 1月 9日

新年（令和2年）を迎え、3学期が始まりました。年末年始は穏やかな好天の日が続き、ご家族で有意義な冬休みを過ごされたことと思います。3学期は、学年のまとめの時期であるとともに、4月からの新学年に向けた準備期間でもあります。インフルエンザの予防に努め、寒さに負けず、元気で充実した3学期にしていきたいと思います。



今年、どんな年？

8日（水）の始業式では、「昨年は、『平成』から『令和』へと元号が替わる記念すべき年だったけど、今年はどうな年かな？」と問いかけ、今年の夏に開催される「2020年東京オリンピック・パラリンピック」について話をしました。

日本で初めてオリンピックが開催されたのは昭和39年で、当時のことは、おじいちゃん・おばあちゃん世代しか知らないであろうこと、そして今回が56年振り2回目の東京での開催であることから、今年が「一生のうちに一度あるかないかという、貴重な体験ができる年」であることを伝えました。また、パラリンピックの競技には、「車いすテニス」や「車いすバスケットボール」など、一般と同じような競技もあれば、「ボッチャ」や「ゴールボール」など、パラリンピックにしかない競技もあることを紹介しました。そして、選手や観客、報道関係のメディアなど、世界各国から多くの人たちが集まってくることから、世界中の人々の視線が日本に注がれ、私たちの暮らしや文化、日本人の振舞い方などが注目されることを話しました。

子どもたちは、普段の学習の中で、いろいろな国のことを学んだり、英語の勉強をしたり、点字や手話について学んだり、福祉体験をしたりしています。また、人種差別や障害者差別など、様々な人権についても学んでいます。「国際化社会・グローバル社会」と言われている中で、オリンピック・パラリンピックが日本で開催されるということは、様々な国の人たちとの交流を深め、コミュニケーションをとったり、色々な障害やハンディをもった人たちがいて、それぞれの違いを認め合い、共に生きることを学んだりする絶好の機会となります。



話のまとめとして、「日本は、車いすの人や目の不自由な人たちにとって、暮らしやすい町であるのか、日本人たちは、どんな気持ちや姿勢で外国の人たちを迎え入れてくれるのか、そんなことが、私たち一人ひとりに問われるのではないのでしょうか。そのことを心にとめて、私たちの暮らしやものの見方、生き方などについて考えながら、この一年を過ごして行ってほしいと思います。」と、子どもたちに伝えました。

今後の電話対応

昨年12月に四日市市教育委員会から通知され、既に保護者及び地域のみなさんにお伝えしましたように、昨日（1/8）から、学校の勤務時間外における電話対応については、音声メッセージが流れるようになりました。小学校では、平日（月曜日～金曜日）の7：45～18：00の時間帯においては、職員が電話に出ることができますが、それ以外の時間帯に学校に電話をかけていただいた場合には、自動的に音声メッセージが流れ、誰かが電話に出るということはありません。

学校から保護者のみなさんに電話をさせていただく際には、勤務時間内に連絡をさせていただきますが、もし電話に出られなかった場合には、留守番電話に伝言メッセージを入れさせていただきます。伝言メッセージを確認していただき、折り返し保護者のみなさんから学校へお電話をさせていただく際にも、勤務時間内にご連絡いただきますようお願いいたします。

